

2018年11月28日

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」

サンパウロ州サンパウロ市
「SBC病院医療機材整備計画」に係る
草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式について

在サンパウロ日本国総領事館

11月26日（月）午前9時より、SBC病院にて、「SBC病院医療機材整備計画」に係るSBC共済会への我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式を行いました。式典には野口泰在サンパウロ日本国総領事、オスヴァルド・マスオ・アキモト理事長他約30人が出席しました。

会場：SBC病院

住所：Rua Blumenau, 320, Vila Leopoldina, São Paulo, SP, CEP: 05319-020

電話番号：(11) 2197-2400

●来賓の挨拶：

（アキモト理事長）

「SBC病院の医療機材の整備のため、日本国政府に支援をしていただいたことに心から感謝申し上げます。日本国政府の支援のおかげで、SBC病院は、本年3月から10月までの6か月間で、2,853件のX線検査を行うことができました。これまで以上に病院の活動を活性化しつつ、地域社会により貢献できるよう努力していきます。」と謝辞を述べました。

（野口泰総領事）

「ブラジルにおいて医療は重大な課題です。サンパウロ内陸部の市長の方々に話を伺うと、ほとんどの市長は、それぞれの地域で最大の課題は健康問題であると言います。今般、日本国政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力により、SBC病院にX線装置を導入し、地域の方々の医療環境の向上に貢献できたことをとても嬉しく思います。今年はブラジル日本移民110周年でもあります。当地においては、多くの日系人が医師や看護師としてブラジルの医療の向上に貢献されています。SBC病院において、緩和ケア教育に取り組まれている北見赤十字病院の皆様にも感謝の意を表します。日本では、100歳以上の方々が約70,000人のぼり、北見赤十字病院の緩和ケアに関する経験は、ブラジルにとって非常に有用であると考えます。」と祝辞を述べました。

●案件の基本情報：

案件名：SBC病院医療機材整備計画

被供与団体：SBC共済会

プロジェクト実施地：サンパウロ州サンパウロ市

契約署名式日：2017年12月26日

供与額：66,957米ドル

供与品目：移動型デジタルX線装置及び固定型デジタルX線装置

●案件概要：

SBC病院は、現在、病床数23床、医療チームとして約60人の医師が登録されており、地域に根付いた医療機関として日系人コミュニティ等に対して医療サービスを提供しています。近年、一部の医療機材の老朽化が進んでおり、より緻密な診断を行うことができるよう、最新の医療機材の整備を要望しておりました。

今回の協力は、最新の移動型デジタルX線装置及び固定型デジタルX線装置各1台の整備に対し、66,957ドルを限度とする草の根・人間の安全保障無償資金協力を行うもので、地域医療サービスの質の向上が期待されます。

(お問合せ先) 在サンパウロ日本国総領事館・経済班
(0xx11) 3254-0100

【供与式典当日の様子】



(移動型デジタルX線装置)



(固定型デジタルX線装置)



(除幕式)



(供与式関係者)



(アキモト理事長及び野口総領事)